学力向上に効果のある取組事例

別府市立南立石小学校

①校内研修などによる授業改善

取組の具体

〇校内研修による全教職員の授業改善

【R5年度 研究主題】

聴き合い、伝え合い、

主体的に学び合う子どもの育成 ~考えたくなる「課題」と 学び合いを支える手立ての工夫~

①ともに考え合う授業の在り方

〈模擬授業での事前研〉

・先生集団を子どもに見立てて模擬授業をすることで、 全員参加で課題や指導の流れ・板書などの手立てに ついて考え合う。

〈予定板書と最終板書から考える授業〉

・予定板書を写真に撮ったもので授業の提案をし、最終板書と比較することで、手だての在り方について考え合う。

②授業実践による日常的な交流

〈一人一実践の互見授業〉

・単元構造シート・指導案・参観カード(予定板書と研究の2つの視点を記入したもの)をもとに全員が授業公開し、交流し、日常実践に生かす。

〈研修の日常化〉

・日常の板書を写真で記録し、グループに分かれて授業について相談しあったり、週1回、同僚の授業を実際に見に行くことで、気軽に研修できるようにする。

〈全体授業研究による交流〉

・年3回、全体での授業研究会を設定し、子どもの姿から「課題」までのプロセスや、「課題」そのものについて検証したり、学び合いを支える手立てについて検証したりして、研究に対するイメージの統一を図る。



模擬授業の形での事前研究 予想できなかった児童の意見や、板 書の改善案などが出やすい。



予定板書と最終板書から授 業を考える

授業の振り返りが容易になる。